



AIが拓く台風研究新時代

New Age of Typhoon Research Leveraging AI

近年、機械学習技術は大きな脚光をあびており、気象学・気候学においても大きな役割を担う兆しが見えてきています。実際に天気予報をするAIモデルが発表されたことは、業界内に大きなインパクトをもたらしました。これまでに幅広い分野において活用の検討がなされておりますが、台風も例外ではありません。一方で、学習結果の不透明性や、学習させるデータの質やデータの解釈性など課題も見えてまいりました。本シンポジウムでは、最先端技術であるAIと機械学習がどのように台風研究に影響を与えうるのか、広い視野で第一線の専門家にご講演いただき、どのように気象学・気候学における新しい時代を切り拓いてゆけるのか考えるきっかけを提供することを目的とします。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2025年5月17日（土）13：30～17：00

於 慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎+オンライン
(自然科学研究教育センター共催)

デジタル台風：生成AI時代のデータ駆動型台風研究に向けて
国立情報学研究所 北本 朝展氏

司会：横浜国立大学 吉田 龍二

気象・気候学における生成AIの活用と展望
海洋研究開発機構 松岡 大祐氏

IT企業による最新AIの活用：台風予測から新たな知見獲得へ
富士通株式会社 柳瀬 隆史氏

民間気象業務におけるAI活用への展望：
災害リスク評価から日々の天気予報まで
株式会社ウェザーマップ 高野 雄紀氏

気象庁数値予報におけるAIに関する取り組み
気象庁情報基盤部 計盛 正博氏

AI気象モデルによる台風予測の現状と将来展望
気象庁気象研究所 山口 宗彦氏

総合討論モデレーター：横浜国立大学 筆保 弘徳氏

事前申込なし。どなたでも
ご参加いただけます♪

詳細は「気象学会2025年春季大会」
Webサイトをご確認ください。



<https://sites.google.com/metsoc.or.jp/spr2025/home>



北本 朝展氏



松岡 大祐氏



柳瀬 隆史氏



高野 雄紀氏



計盛 正博氏



山口 宗彦氏